

ハンガーゼロ (日本国際飢餓対策機構) は、イエス・キリストの精神に基づいて活動する非営利の民間海外協力団体 (NGO) です。1981年に誕生して以来、世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、教育支援、緊急援助、海外スタッフ派遣、飢餓啓発を行っています。現在は、国際飢餓対策機構連合 (Food for the Hungry International Federation) の一員として、20カ国、国内外の80のパートナーと協力し、アジア、アフリカ、中南米の開発途上国で、「ここからだの飢餓」に応える活動をしています。

わたしから始める、世界が変わる

1分間に17人(内12人が子ども)  
1日に2万5,000人が  
1年間では約1,000万人が  
飢えのために生命を失っています

# Hunger Zero News

ハンガーゼロ・ニュース

## パン・アキモ 秋元義彦氏の叙勲祝賀会



社会貢献への功績で昨年秋の叙勲で旭日単光章を授与されたパン・アキモ取締役会長 秋元義彦氏の祝賀会が2月9日に大阪市内で開催されました。秋元氏は挨拶で「名古屋で清家さんに出会い、金城大学から救世島プロジェクトへの参加が実現しました。それからこの取り組みが徐々に広がっていき経済産業省からも理解を得て今般の叙勲につながったのかと

思っています。これからもチャレンジしていきます」と語られました。祝賀会はハンガーゼロ清家理事長が共同発起人となり、同社協力企業や自治体 (栃木県) が集まり行われました。また森親善大使が司会を担当されました。ホームページで詳しく報告しています。



## 「パンのかんづめ」セット

賞味期限が5年で、卵不使用で「まもり高める乳酸菌 L-137」を配合。通常価格は1缶 500円(税別)ですが、特別価格セットをご用意しました。1セット3缶送料込み

2,300円でお届け。2セットの場合は送料込み 4,000円。3セットは送料込み 5,000円。いずれの場合も沖縄・北海道は 500円加算。  
お支払い: 銀行振り込み、または郵便振替の後払い

※送金はキングダムビジネスまで。  
お申し込み:  
(株)キングダムビジネス  
スマートフォンは右のQRコードから  
電話注文: 06-6755-4877



## 米国NPOのAinoteを訪問

2月上旬、ハンガーゼロ近藤常務理事が米国サンフランシスコにあるNPO 団体「Ainote International (愛の手インターナショナル)」のトム・藤川代表を訪問しました。

同NPOでは米国の支援者に毎月400通のハンガーゼロニュースを送送、支援に取り組んでいます。ホームページで紹介しています。

## 理事会を開催

一般財団法人 日本国際飢餓対策機構の「定例 理事会」を3月8日(金)に大阪で開催します。今年度上半期 (昨年7月~12月) 事業報告、下半期の事業計画などが審議されます。

あなたの祝福を分かち合いませんか  
Giving Back  
わたしから始める...愛の恩返し

## 遺贈寄付

顧問弁護士が無償でご相談お手伝いします

Zoom無料セミナー 次回は2024年4月23日  
「参加希望者」は jifhtokyo@gmail.com メールまたは電話で

Hunger Zero  
東京事務所・近藤 TEL.03-3518-0781

詳しくはお電話でご説明しますのでご連絡をお待ちしています

専門講師(弁護士)による出張個別相談もできます

## サポーターお申込み欄 FAX072-920-2155

氏名	フリガナ	姓	名
(TEL)			
住所	〒		
申込日	年	月	日 NL404号
<input checked="" type="checkbox"/>	下記から希望されるものをお申し込みください		
<input type="checkbox"/>	ハンガーゼロサポーターとして協力します。 ①毎月 ( ) 円 (1口 1,000 円) ②一時募金として 円協力します。		
<input type="checkbox"/>	継続募金 (JIFH サポーター) として協力します。 毎月 ( ) 円 (1口 500 円)		
<input type="checkbox"/>	チャイルドサポーター (子ども1人毎月 4,000円) の説明書 (申込書) を送ってください。		
<input type="checkbox"/>	郵便自動引落し申込書を送って下さい。		
<input type="checkbox"/>	その他の銀行自動引落し申込書を送って下さい。		

上の申込書をコピーして、必要事項を記入の上、FAX又は郵送にて大阪事務所までお送りください。確認書類等を送らせていただきます。お電話やウェブサイトでも申し込みできます。

※記入後にスマホで撮影し、下記メールアドレスにお送り頂いても受付いたします。



地域の変革に取り組むザンビアの人々 (P.4)

ハンガーゼロ サポーター 現在... **5354** 人 Child Supporter チャイルドサポーター 現在... **1155** 人

■発行 清家弘久  
■発行所 一般財団法人 日本国際飢餓対策機構  
Webサイトアドレス <http://www.hungerzero.jp>  
eメールアドレス [general@jifh.org](mailto:general@jifh.org)  
フェイスブック facebook でハンガーゼロを検索

■募金方法 ※各種方法で随時受付中、詳しくは電話やウェブサイト  
①郵便振替 00170-9-68590 一般財団法人日本国際飢餓対策機構  
②他の金融機関からの自動振替③クレジット、デジタルコンビニ



●Tポイントを利用して「南スーダン・マブイ小学校給食支援」ができます。現在までに1,698,534ポイント(円)のご協力(25,483件)がありました。Tポイント募金で検索。  
●「つながる募金」はスマートフォンからご利用できます。募金は、ソフトバンクモバイル(株)経由となります。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

大阪 〒581-0032 八尾市弓削町 3-74-1  
(広島/沖縄) TEL (072)920-2225 FAX (072)920-2155  
東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台 2-1 OCCビル 517号室  
(東北) TEL (03)3518-0781 FAX (03)3518-0782  
愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町 2-3 YWCAビル 6F  
TEL (052)265-7101 FAX (052)265-7132  
USA Ainote International c/o Mr. Takehiko Fujikawa  
8010 Phaeton Dr. Oakland, CA94605  
TEL(510)568-4939 FAX(510)293-0940



Hunger Zero News 今月号の内容	
続報 能登半島地震緊急支援	P.2-3
南部アフリカでの地域変革	P.4-5
支援の広場・催事報告	P.6
ウクライナ避難民支援	P.7

# Hunger Zero 能登半島地震緊急支援



発災から3ヵ月目に入り、被災者支援は緊急的な段階から生活再建に向けたものへと変わりつつあります。一方で珠洲市や輪島市など上下水道の復旧が遅れている地域では、復興の道筋が見えない厳しい状況が続いています。ハンガーゼロは地元のキリスト教会が立ち上げた支援組織の「能登ヘルプ」の活動団体として、スタッフの継続派遣や物資の調達・輸送を協力企業や諸団体と力を合わせて行っています。そこで能登ヘルプの岡田代表から団体発足の経緯を、また FUKUSHIMA いのちの水・坪井理事長からハンガーゼロとの協力について報告をいただきました。



炊き出しの仕込み中の申スタッフ④/パンを配るジェロムスタッフ⑤



## 地元組織を通じて全力で被災者支援

能登ヘルプ 岡田 仰代表 (金沢キリスト独立教会牧師)

この度の地震は、金沢に住む私にとっても尋常ではありませんでした。これは大変な地震だと。やがてニュースの画面を通じ、その被災の悲惨な状況が分かって参りました。その時に思った事は、これから私たちの地域の教会も、この被災地の隣人として被災地支援に取り組まなければならない事でした。既にこの地の超教派の教会の



能登ヘルプ発足準備の会合 (中央に岡田代表)

の交わりであった、「世の光放送委員会」の呼びかけに応じて集まって下さった牧師の方や諸団体と共に、能登ヘルプ(能登地震キリスト災害支援

会)の発足を決めました。しかし、これからどの様に組織を作り、どの様に支援金を扱うか、どの様に支援活動をするのか。全く素人の私には、どうしていいかわかりません。本当に幸いだったことは、ハンガーゼロをはじめ、全キ

害支援をしてこられた経験豊かな方々が駆けつけてくださり、又、様々な知恵、情報、実地的な働き人など送って下さり、協力を申し出て下さいました。それはどんなに大きな助けになったかわかりません。その方々にガイドしていただき、今日までの働きが建て上げられてきております。

改めて聖書の言葉を噛みしめております。「確かに、からだはただ一つの器官ではなく、多くの器官から成っています」。神様の働きというものは、どこか一つの働きだけではなく実に様々な働きの協力、助け合いの中でなされていくものなのだ。これからさらに続く支援活動も、これまでと同様に助け合い、協力し合いの中でなされていくならば、必ず神様は、この能登ヘルプの働きを豊かに用いてくださると信じています。どうぞ引き続き、諸団体、諸教会の皆様のご支援とお祈りをよろしくお願いいたします。



ハンガーゼロ支援教会で行われている炊き出し (七尾市)

備蓄をしながら社会貢献

世界にパンを届けよう



皆様から回収された救缶鳥は各地に飛んでいきました!

食料が不足している、国内外の豪雨・地震等の災害被災地や、海外の飢餓地域等へ送られました。

おいしいと夢をお届けします。株式会社パン・アキモト

パンの缶詰 since 1995

〒329-3147 栃木県那須塩原市東小屋295-4 TEL 0287-65-3351

パン・アキモト 検索



NPO FUKUSHIMA いのちの水 坪井永人理事長

1月1日午後の能登半島地震発生で即日支援物資搬送を決定し、物資在庫の確認を行いました。郡山の倉庫に50トンの水の在庫があり、川崎に郡山搬送前の50トンの水、その他災害備蓄用品在庫が郡山の倉庫に多数あることを確認。これらは2011年より、(東日本大震災で被災した)福島の子どもの養育支援の為、当会がストックしていたもので、無償で被災地に送ることが出来ます。現地の受入拠点は、ハンガーゼロの清家理事長のアドバイスにより、内灘聖書教会(能登ヘルプ事務局が設置)の林牧師と連絡をとり、4日に内灘教会にミネラルウォーター10トンを搬入しました。以後連日10トン車での物資搬入を続けました。

同8日には、ハンガーゼロの近藤氏の斡旋で川崎から珠洲総合病院への手術用のミネラルウォーター輸送を試みましたが、七尾、穴水間で雪、通行止めのために2日遅れの11日午後に搬入できました。そのほか輪島市からミネラルウォーターの要請もありましたが道路の通行止めで大型車での搬送は出来ませんでした。その間はハンガーゼロの設営した津幡倉庫、かほく市高松ベースから2トントラックで、能登、珠洲、輪島への搬送を試みました。輪島への10トン車でのミネラルウォーター搬送ができたのは1月30日、生活用水10トンは2月2日になりました。地震1ヵ月後に水道の復旧が徐々に進むに伴い、当会の水を主体と

する初動支援を終了しました。

今回の支援実現の要因は2つあります。①当会は専従者2名の小さな団体ですが、2011年の東北大震災から継続して行ってきた福島の子どもの支援の実績が、今回の能登初動支援の備えとなったという事。②はハンガーゼロの物資受け入れの力(搬送費支援)、津幡倉庫、高松ベース提供があったことです。

当方の力では到底成しえない初動支援を、実現させてくださったハンガーゼロに心からの感謝を申し上げます。(キリスト愛の福音教会 逢瀬支教会牧師)



水の個別配布

パンの缶詰はどこでも喜ばれています



森親善大使の協力会社から提供された肌着や靴下も配布しました

募金はクレジットカード又は郵便振替で



左のQRコードからすぐにオンライン募金ができます。クレジットカードやコンビニ決済がご利用できます

【郵便振替での送金は】00170-9-68590

日本国際飢餓対策機構「能登地震緊急募金」明記

## 米国のGEMがハンガーゼロを応援 ウクライナ支援で協力関係



米国の物資支援団体GEM(グローバル・エンパワーメント・ミッション)からハンガーゼロの能登半島地震緊急支援に協力をいただきました。

GEMは国際的な物資支援団体で、ハンガーゼロは2022年のウクライナ緊急支援から協力関係を構築してい

ます。GEMは隣国のポーランドなどに大規模物資倉庫を設置、ウクライナから逃れきた難民や国内にとどまる避難民支援を続けています。ハンガーゼロは、ウクライナ緊急支援開始直後からGEMとの協力関係を結んで、現在も派遣中の王さんが国内外の避難民に食料や生活用品などの支援を続けています。(P.7に活動報告)



調達した魚の食品はとても好評でした

1月29日、GEMの最高責任者であるマイケル・カポーニ総裁が緊急来日、大阪からハンガーゼロ清家理事長とともに輪島市門前町や輪島市街地に入り、ハンガーゼロの緊急支援チームに合流。GEMからハンガーゼロへの資金協力で調達した毛布や食品などの配布活動に立ち会いました。

# 南部アフリカで地域変革に取り組む人々

2023年10月28日～11月13日、国際飢餓対策フェデレーション (FHIF) 及びVision of Community Fellowshipのランディ・ホーグ代表、ジェロム・カセバスタッフと共に南部アフリカで活動しているハンガーゼロのパートナー団体を訪問しました。

報告：ハンガーゼロ 浅野陽子 (海外事業部)



ランディ代表

ジェロム&浅野スタッフ



ザンビア

ジンバブエ

モザンビーク

2022年に訪問したガンビア、シエラレオネ、ガーナ同様、ザンビアでも「ビジョン・オブ・コミュニティ (VOC)」(ランディ・ホーグ代表による地域変革のためのリーダー研修を軸に、互いに学びあう人材育成を通して、自分自身ならびに自分たちが暮らす地域を主体的に変革していこうとする地域変革運動)に参加する人が増えています。



Ainozeザンビアのマイク代表とレオナルド

## 若者レオナルドを変えたVOC

ハンガーゼロのパートナー団体であるAinozeザンビアで活動している若者レオナルドもその一人です。飢餓・貧困に苦しむ家庭に生まれたレオナルドは、子どもの頃、国際NGOによる教育支援を受けて高校を卒業しました。学費、制服、教材、食料などすべて支援を受けていたため、家族は何も心配することなく彼を学校に通わせることができました。しかし、与えられるものをただ受け取るだけだった家族は、レオナルドが高校を卒業し支援が終わると同時に元の貧困状態に戻ってしまいました。この体験はレオナルドに大きな痛みと無力感を与えました。Ainozeザンビアのマイク代表に誘

われてVOCの学びを始めた時、若者や女性を含む様々な地域住民が、自分たちが暮らす地域の課題を自分事として捉え、身近にある資源や自分たちの可能性に目を向け、まず自分が変わることから自主的かつ持続的に地域変革を行っていくという取り組みに心を揺さぶられました。そして自分が持っているものの活用として農業に励み、そこから得たお金で家具を作るための道具を買いました。家具作りの職業トレーニングを受けたことがあったからです。今、レオナルドは家具作りと農業でなんとか生計を立てようと努力しながら、自分を変えてくれたVOCをより多くの人たちに伝えるためにマイク代表と共にAinoze ザンビアで活動しています。



カラング村で農業実践に取り組む家族

## 生活困窮者たちが農業にチャレンジ

私たちは、そのマイク代表とレオナルドと共にAinoze ザンビアの活動地であるカラング村を訪問しました。カラング村には約150の家族が暮らしていますが、その中でも特に生活に困窮している10家族がVOCの取り組みに参加していました。10人の参加者はVOCの学びと農具や種などの支援を

受けつつ、それぞれが自宅の畑や庭で農業を実践しています。また、共同農園をみんなで管理し、将来は共同組合として登録することを考えているとのことでした。

訪問した時はちょうど端境期で、畑にあまり作物は見られませんが、ナスの苗床を見せてもらいました。本来なら雨季の最初の雨がとっくに降っているはずが遅れて雨量が減っている、という懸念の声をあちこちで聞きました。気候変動の影響が、おそらくその原因にほぼ加担していないこんなのかな村に及んで人々を飢餓に追いやるかもしれないと思うと、原因を作り出している側の国で暮らしていることに責任を感じずにはいられませんでした。



ジンバブエ・ムウェンバ村

## ジンバブエでVOCの取り組みが始まる

今回の訪問でもう一つ印象的だったのは、次の訪問国ジンバブエにAinozeザンビアのマイク代表が同行したことでした。ジンバブエで訪問したムウェンバ村は、穴ぼこの道路を120km以上車で走った先にありました。VOCのリーダー研修を受け地域での取り組みを始めたばかりでしたが、村人たちは環境に配慮した有機農法「Farming God's Way」を学んだことがあり、7年前から共同農園を行っていました。以前「Farming God's Way」を教える機関で働いていたことがあるAinozeザンビアのマイク代表は、その豊富な知識と経験をカラング村の取り組みに活かすためのヒントをたくさん得たと目を輝かせて帰路に着きました。それぞれの取り組みや成功例から学んだり一緒に課題解決を模索したりできるこうした相互訪問の機会を今後も後押ししていきたいと思いました。

## モザンビークのYFPを視察

今回の訪問の最後に訪れたモザンビークでは、ハンガーゼロが支援しているヤング・ファーマーズ・パートナーシップ (YFP) の取り組みを視察しました。YFPは、農業支援を通して若者の進学や就農をサポートする取り組みで、シトエ牧師の指導のもと共同農園で収穫したものを販売すると共に、参加している若者たちがそれぞれの家でも農業を実践しています。3年前に開始した時には12人の若者が参加していましたが、進学して引越した人や途中であきらめた人



モザンビークのYFP



モザンビークの若者とローレンス綾子さん (最前列中央)

がいて、今は5人が参加していました。その後、ハンガーゼロの元派遣スタッフであったローレンス綾子さん (写真④最前列中央) と合流し、彼女が支援している幼稚園と教会の若者ミニストリーの働きを見せて頂きました。

## 皆様の支援がVOC活動を支えています

今回の訪問では、ザンビアとモザンビークで活動地域を管轄する自治体のリーダーたちが「何をしてもらえるか」ではなく、住民が主体的に地域を変革する取り組みに理解と好意を寄せていたことが私たちにとって大きな励みとなりました。飢餓や貧困のただなかで生きている人たちが、自分たちが暮らす村の資源や可能性に気づくことは容易ではありません。村に出向き、信頼関係を築き、VOCを通して飢餓と貧困に苦しむ方々を勇気づけ、気づきと行動へと向かうことができるよう献身的に手助けしているそれぞれの国のワーカーたちをこれからも支えていきたいという思いを新たにしました。

ビジョン・オブ・コミュニティ (VOC) の活動はハンガーゼロ・サポーターのご支援、世界食料デー募金などにより支えられています。ぜひ応援をお願いします。

高知ペンテコステ教会隣接のクリニック

医療法人オリーブ  
**大川内科**  
 循環器内科・内科・老年内科  
 院長 大川 真理

## 世界食料デー2023 Tokyo World Food Day+Gospel 白鞘親善大使との共催

～フィリピン支援地訪問の報告も～

1月13日(土)、お茶の水クリスチャンセンター 8F チャペルにて、2023年度最後の世界食料デー大会「Tokyo World Food Day + Gospel」が開催されました。このイベントは白鞘親善大使が代表を務める社会支援団体「Everlasting LOVE Project」とハンガーゼロの共催で毎年実施しています。コロナ禍ではオンラインでつないできたこのイベントは、実に4年ぶりの東京で対面での開催となりました。

白鞘親善大使とスペシャルバンドによるミニライブは、圧巻の歌唱力と歌詞に込められた希望のメッセージが参加者の心を奪い、クワイアによるゴスペルコンサートでは会場全体が熱気に包まれました。

音楽の合間に白鞘親善大使が昨年3月にハンズ・オブ・ラブ・フィリピンの活動地を訪問した経験話し、募金の呼びかけを行いました。またハンガーゼロ田村スタッフによる講演を通して、約8億人という世界の飢餓人口はただ



の数字ではなくそれは一人一人の尊い命であることが伝えられました。来年のイベントにぜひご期待ください!

は、同じ境遇にある方々への大きな励ましとなりました。国際的アーティストと称賛される彼らのステージは圧巻で、「想像以上だった、このようなコラボをまた聴きたい、音楽の在り方を考えさせられた」など多くの驚きと感動の声があり、障がいの有無を超えた命の存在価値を社会に発信することが出来ました。

この日、能登半島地震被災地への義援金として130,075円を来場者からお預かりし、早速現地での必要のために用いさせていただきます。心から感謝申し上げます。



## 「平和のリボン」公演

～障がい者と健常者による日韓音楽プロジェクト～  
小堀親善大使 能登地震被災者に義援金も

知的障がいを持つ5人の音楽家たち J Art Ensemble を韓国からお迎えし、小堀親善大使率いるアンサンブルメゾンとの「平和のリボン」公演が、去る1月27日 大阪市立阿倍野区民センターで開催されました。日韓交流であると共に、世界平和と差別・偏見撲滅への意識改革を導く機会となることを目的とした特別プログラムで、その取り組みには多くの反響をいただきました。障がいを持って生まれても、音楽を通してあらゆる壁を乗り越えて活躍する姿



私たちロングライフグループは、ハンガーゼロの活動を応援しています。

ロングライフは1986年の創業よりケアサービスと筋。全国に展開しています。

Health & Natural Beauty  
**0120-550-294** 受付時間 9:00～18:00 年中無休  
 大阪本社 / 〒530-0015 大阪市北区中崎西2-4-12 梅田センタービル25階 東京本社 / 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階  
 ロングライフグループ拠点: 北海道/埼玉/東京/神奈川/千葉/静岡/愛知/大阪/兵庫/京都/大分/沖縄/中国(青島)/韓国/インドネシア(ジャカルタ)



## 物心両面で最も貧しい 避難民を助けています

ウクライナの避難民支援のためにハンガーゼロが派遣している王楠穎さん(写真①左端)は、昨年12月に日本で支援者に報告活動を行った後、台湾への一時帰国をへて再びウクライナに入り精力的に活動を続けています。

活動にあたっては避難民支援に取り組んでいるウクライナの様々なキリスト教会やNGO(民間援助組織)ほかグループとの協力を適時判断して行っています。

現在は、老人福祉施設(子ども関連も含む)などでの食料・日用品・発電機の提供、教育プログラムのサポート、貧困家庭が越冬するための薪(木材)提供などの支援活動を行っています。また、こうした活動への理解と協力を促すためにキリスト教会連盟が主催するセミナー(NGOらも参加)に自ら出かけて行ってハンガーゼロの取り組みを紹介して協力の輪を広げることとしています。



### 激戦地の教会牧師が語った証言の衝撃

2月に行われたセミナーでは、ロシア軍の支配が6割にまで進んでいる激戦地ヘルソン州の牧師たちも参加、侵攻から今日に至るまで市街地や山間部で犠牲となった多数の人々の遺体の処置などを行ったことなどが写真や映像で紹介され「とても衝撃的な報告で祈らずにはいられませんでしたし、もっとみんなで助けあっていかなくてはならないと思

### 【ウクライナ緊急支援募金】

募金は…①郵便振替 ②ホームページからのクレジット決済利用の2種類  
 ①郵便振替 00170-9-68590 一般財団法人日本国際飢餓対策機構 「ウクライナ緊急支援」と明記  
 ②ホームページ 募金画面からクレジットカード、コンビニ決済がご利用いただけます。



いました」(王さん)とのことです。

### 戦争の長期化による新たな火種

ロシア侵攻から2年が経過する中で戦争の終結がまったく見通せない状況が長期化し、ウクライナ国内の人々の生活環境は以前よりも厳しくなりつつあります。王さんによると「ロシアにより黒海から穀物が輸出できないので、陸路で周辺国(ポーランド、スロバキア、モルドバなど)に持ち込んだら、農業従事者が安価な穀物の流入に猛反対して、自分たちでウクライナからの車が入れないように封鎖したりしています」とウクライナと周辺国と間の問題も生まれてきているとのことです。

ハンガーゼロはこうした現地からの報告を元に、いまの求められるニーズを見極めつつ厳しい生活環境下にある貧しい人々や子どもたちのために支援を継続していきます。ぜひ関心をもち続けていただき、これからも応援をよろしくお願いいたします。



## OKUDA DESIGN PROJECT.

貸したい時も、借りたい時も。不動産賃貸のご相談は—

株式会社  
**Okuda**  
 オクダコーポレーション  
 〒197-0003 東京都福生市熊川447-9  
 042(552)0102  
 インターネットでお部屋探し <https://okuda-re.co.jp>